大和小だより

令和５年度版

学校便り　１７号　　令和６年３月１２日　　文責　校長　有泉　昌和

２月末から３月にかけ，もうすぐ春かなと感じさせるような気候でしたが，先週はまた雪が舞い，寒さも真冬に逆戻りしたような日があり，まさに三寒四温の言葉の通りの陽気となっています。学年最後のまとめの時期，体調を崩すことがないよう気をつけて過ごして欲しいと思います。

◇大谷効果　大！！

大谷選手からのグローブが届いた頃から，高学年生を中心に男女関係なく休み時間にキャッチボールをする姿が見られ始めました。学校にあったグローブも使ってのキャッチボールがしばらく続いた後，野球をするようになりました。以前もたまにバットでボールを打って素手で捕るという姿はありましたが，今回はグローブを着けて，ベースをかいて，本格的な野球のような形で遊んでいました。久しぶりに学校で野球をして遊ぶ子ども達を見た気がします。

近年の体力テストでは，全国的に「投げる力」の低下が続いていましたが，ひょっとしたらこれがきっかけで，改善に向かうかもしれません。

その意味でも，大谷選手のグローブの効果は大きい！！と感じました。

◇来年度に向けて動きだしています。

①「甲斐天目山勝頼公太鼓」新体制で始動！

２月の太鼓練習最終日に，特別講師の前田タクヤ先生が来校され，新体制になって初めての指導が行われました。３年生はもちろん，４・５年生からも緊張している様子が伝わってきました。最初に「青翠の唄」と「大和ばやし」を演奏しました。適度な緊張が集中力を高め，初回としてはとても素晴らしい演奏でした。前田先生にも特に全体のリズムと腕の動きが良いと褒めていただきました。その後，バチの持ち方や打ち方，打つときの姿勢など基本となる事柄の指導がありました。

太鼓に関しては，３０年以上の伝統があることに加え，ほぼ全員の児童が自己評価で「太鼓の練習や発表は自分の成長のために役立っている」と答えていることから，今後も大切にしていきたい本校の特色の一つであると考えています。

② 新児童会執行部「６年生を送る会」で始動！

２月７日中休み，５年生を中心とした新執行部が初めての実行委員会を開きました。６年生

を送る会の原案を検討し，方向性を確認しました。あいさつする態度や会の雰囲気もキリッと引き締まっており，やる気を感じました。本校の児童会は，子ども達が主体的に一生懸命活動する素晴らしい組織です。新体制での頑張りに期待しています。

◇６年生を送る会

テーマ：「いつもヒーローみたいに全力で支えてくれた６年生ありがとう」

３月５日に「６年生を送る会」が行われました。６年生を送る会は，今まで大和小の中心となり，頼れるリーダーとして大活躍してくれた６年生に感謝の気持ちを伝える大切な会です。

卒業する６年生５名は，まさにこの会のテーマ通りの６年生でした。いつも下級生のことを考えながら，みんなのために頑張れるすばらしい子ども達です。会の後半に６年生がお礼の出し物をしてくれたのですが，５名の人の良さや仲の良さが節々に現れている，微笑ましい出し物でした。

この会を企画・運営したのは新執行部と５年生です。新執行部と５年生には，６年生が卒業した後の大和小の伝統は，自分たちがしっかり受け継いで頑張っていきますという姿を見せて欲しいと願っていました。緊張しながらも，見事に最後までやりきってくれたことを嬉しく思います。笑顔あふれる思い出に残る会となりました。

◇一年間ありがとうございました。

気づけば，もう３月も半ばとなり，残す大きな行事も１９日の卒業証書授与式のみとなりました。一年過ぎるのが本当にあっという間でした。

学校だよりを発行する意味の一つは，保護者や地域の皆様に子ども達の活動の様子を伝えることで，地域と共に子どもを育てていきたいという思いがあります。

この一年，本校の教育活動にご支援とご協力をいただき，誠にありがとうございました。お陰様で，大和の子どもたちは，郷土に誇りを持ち，郷土を愛する子どもに育っています。

これからも我々教職員一同，一日一日を大切に子どもたちと向き合っていきたいと思います。